

令和3年10月18日

大学院学生各位  
To All Graduate Students

令和3年度  
**基盤医学特論 開講通知**  
Information on Special Lecture Tokuron AY2021

**題目：神経回路とシナプスの先端的イメージング**

**Title:** Advanced imaging of neural circuit and synapse

**講師：岡部 繁男先生**

東京大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学分野・教授

**Teaching Staff:** Dr. Shigeo Okabe

Professor, Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine, the University of Tokyo

**日時：令和3年12月1日（水） 17:00－18:30**

**Time and Date:** 17:00 - 18:30, 1 December, 2021

**場所：Zoom 及び名古屋大学 環境医学研究所 南館大会議室（東山）**

（人数制限のため環境医学研究所所属者以外の方は Zoom での参加をお願い致します）

\* 関係講座部門等の連絡担当者：環境医学研究所・神経性調節学 山中章弘（3864）

**Contact:** Akihiro Yamanaka (3864)

**使用言語：** 日本語 Lecture in Japanese.

**Registration:** 事前登録制です。11月26日までに以下の URL 又は QR コードからアクセスして登録をお願いします。ミーティング ID・パスワードを登録したメールアドレスに送信致します。

<https://forms.gle/a3nhNsMG64Fjuqzm5>



**Abstract:**

高次脳中枢における神経回路形成とその経験依存的変化のメカニズムは脳科学の中心的な課題の一つです。神経回路の機能発現には神経細胞間でのシナプスの形成と機能調節が重要な役割を果たしています。私達の研究室ではイメージング技術を用いて神経回路形成と維持におけるシナプスの形態・機能変化の果たす役割について研究を進めてきました。今回のセミナーでは、スパインシナプスの超微細形態の新しい解析手法、スパイン内部の分子動態の新しい測定手法といったトピックスを中心に説明します。形態と機能が密接に関連しながら進行する、脳内でのシナプス形成のダイナミクスを研究することの意義について理解を深めていただくことを目的としています。

**参考文献：**

Obashi, K. et al. Cell Reports 2019, 27:1503-1515.  
Kashiwagi, Y. et al. Nature Communications 2019, 10:1285.  
Higashi T, et al. Cell Reports 2018, 22:919-929.  
Isshiki, M. et al. Nature Communications 2014, 5:4742.  
Shin, E. et al. Nature Communications 2013, 4:1440.  
Ito-Ishida, A. et al. Neuron 2012, 76:549-564.